

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	722	施策	文化財の保存と活用
管理事業	博物館事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	文化財保護課	事業名	博物館管理事業			
事業概要							
博物館管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・保守点検業務や警備、清掃業務、施設修繕を実施した。 ・特別展等に併せて無料観覧日を実施することで、観覧者の増加に努めた。 ・博物館協議会を開催し、事業の実績や計画を報告するとともに、当協議会委員による外部評価を受け、運営の改善や事業の水準の維持向上に努めた。			決算額 (千円)	70, 205	77, 106	77, 401	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99. 9	99. 9	99. 9	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
開館日数 令和5年度…292日、令和6年度…289日、令和7年度…292日 利用者数 令和5年度…16, 360人、令和6年度…19, 506人、 令和7年度…22, 307人			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			・関係各所と調整しつつ大規模改修等を進める必要がある。 ・バリアフリー化や将来の教育環境を踏まえて設備更新を進める必要がある。 ・博物館資料や出土遺物の収蔵スペースが不足しているため、資料等の整理や新たな場所の確保の必要がある。			継続	
						吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき、整備を進める。	

2	所管 室課	文化財保護課	事業名	博物館展示等事業			
事業概要							
調査研究、収蔵保管、公開展示							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【調査研究】 市域の歴史資料の調査研究を行い、企画展示や講座、展示図録、博物館だより、博物館館報等で成果を公表した。 【収蔵保管】 吹田の歴史を明らかにする資料を収蔵・保管した。また、適正な保管環境を維持するため、館内の害虫や浮遊菌等のモニター調査を4回を実施し、新規収蔵資料に対しても燻蒸によって殺虫・殺卵処理を行った。 博物館所蔵資料はデータベースをホームページ上に公開し、所蔵資料の情報発信することで活用促進を図った。 収蔵資料数 令和5年度…40,820点、令和6年度…41,528点、 令和7年度…42,405点 データベース登録資料数…19,834点（令和8年7月1日現在） 【公開展示】 特別展や企画展を5回開催した。博物館ホームページで展覧会の見どころを掲載し、来館を促す工夫を行った。関連した講演会・講座等は延べ84回実施し、うち29回は子供・親子を対象とした。各展覧会での来館者アンケートでは「とてもよかった・よかった」の評価が9割で、展示内容に対する満足度は高かった。			決算額 （千円）	21,938	18,168	14,814	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	95.3	94.8	92.9	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			・入館者数増加のための取組が課題であり、令和7年度実施の市民ニーズ調査の結果に基づき、「体験」と「子供」をキーワードに、常設展示等のリニューアルを図りつつ、展示の充実・体験型イベントの企画・運営を計画し、より多くの市民が再び訪れたくなる施設への転換を図る必要がある。 ・調査研究、資料の収集及び公開といった博物館の役割を十分発揮するため、資料のデジタル化の推進等に努める必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							拡充
							令和8～12年度の間 に実施予定の大規模改修に合わせ、常設展示等のリニューアルに向けた準備を行う。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	722	施策	文化財の保存と活用
管理事業	文化財保護事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	文化財保護課	事業名	文化財保護事業		
事業概要						
文化財調査、文化財公開・啓発、文化財保存・活用						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
文化財調査 ・開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、歴史的建造物の調査を実施した。		決算額 (千円)	24, 596	17, 581	19, 335	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
文化財公開・啓発 ・発掘調査の現地説明会を実施した。 ・教育委員会で所管する史跡等の管理を行い、一般公開した。 ・文化財について理解を深めていただくための説明板の修繕を行った。 ・発掘調査の成果をまとめた調査報告書を刊行した。		一般財源 の 比率(%)	88. 8	94. 1	94. 6	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
文化財保存・活用 ・市の指定又は登録を受けている文化財に対し、保存のための補助金の交付を行った。 ・文化財保護審議会を開催し、前年度決算報告及び当年度業務報告を行うとともに、文化財指定方針についての意見交換などを行った。		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数 令和5年度…160件、令和6年度…167件、令和7年度…142件		・文化財保護のための人材確保や専門知識、ノウハウの継承が必要であり、特に埋蔵文化財の発掘調査を担える人材の不足が課題である。 ・調査業務の効率化や調査成果の活用のための環境整備を進めている。 ・登録文化財の維持や管理に対する支援の在り方を検討する必要がある。			継続 人材の確保・育成を図りながら、更なる業務プロセスの改善を行うとともに、調査・啓発活動及び所有者等への支援を実施する。	

2	所管 室課	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業			
事業概要							
旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・国指定重要文化財である旧西尾家住宅を後世に引き継ぐため、建造物の保存修理・耐震対策工事を令和2年度から実施しており、令和7年度は主屋・米蔵の復旧工事や耐震補強工事などを実施した。 ・修理後の公開活用に向けて必要な整備工事を行うため、工事の実施設計を行った。 ・一般公開については、工事による範囲の制限はあるが、週3日、1日3回予約制により継続した。 ・工事現場見学会を実施し(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2025に参加)、市民に対して文化財保護の啓発に努めた。 入館者数 令和5年度…250人、令和6年度…290人、令和7年度…254人			決算額 (千円)	168,804	344,360	428,166	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	16.5	9.4	9.6	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			・重要文化財建造物の大規模な保存修理 工事の実施は本市では初であり、工事中 の想定外の発見やそれに伴う工事内容の 見直し等への対応が難しい。 ・労務費や資材単価の上昇等による工事 費の増大が課題となっている。 ・工事期間中も引き続き啓発に努めると ともに、工事後の活用に向けた具体的 な検討を進める必要がある。				継続
							今後実施予定の工事 については、文化庁と も協議を行い、工事内 容の精査を行いなが ら、適切に工事を進め ていく。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	722	施策	文化財の保存と活用
管理事業	文化財保護事業	所管部局	地域教育部

3	所管 室課	文化財保護課	事業名	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用事業				
事業概要								
旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・建物（庭園も含む。）と庭園を分けてそれぞれ週3日、1日3回（庭園のみは2回）一般公開を実施した。春と秋には特別公開を実施した。 ・公開に当たっては、市民ボランティアの協力により、来館者のガイドを実施した。 入館者数 令和5年度…943人、令和6年度…856人、令和7年度…883人 春の特別公開 令和5年度 4月2日～4月10日、入館者数…187人 令和6年度 3月30日～4月7日、入館者数…177人 令和7年度 4月1日～4月9日、入館者数…198人 秋の特別公開 令和5年度 11月22日～11月30日、入館者数…251人 令和6年度 11月23日～12月1日、入館者数…227人 令和7年度 11月22日～11月30日、入館者数…190人				決算額 （千円）	19,757	19,891	18,599	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率（％）	99.5	99.6	99.3	☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				・保存と更なる活用の推進のため、検討を進めていく必要がある。 ・文化財保護啓発やボランティアの確保を進めるため、近隣大学等との連携の取組を強化する必要がある。 ・入館者数について、気候の影響で特に夏場に減少傾向にあり、情報発信を強化するなどして、それ以外の時期の入館者数を増やすよう努める必要がある。				継続
								保存と活用の取組を 一つ一つ実施してい く。

4	所管 室課	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅大規模修繕基金積立事業			
事業概要							
旧西尾家住宅大規模修繕基金積立							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
積立金額 令和5年度…5,281,000円 （うち前年度積立残し額140,000円） 令和6年度… 149,060円 （うち前年度積立残し額 46,000円） 令和7年度…2,194,040円 （うち基金利息27,039円、 前年度積立残し額20,001円、 前年度未充当額2,047,000円）			決算額 （千円）	5,281	149	2,194	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	2.7	30.9	94.2	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
寄附金総額 令和5年度…5,187,000円 令和6年度……123,061円 令和7年度……100,000円			・労務費や資材単価の上昇等から工事費 が増大しており、財源確保に向けて更に 広報活動等の取組に努めていく必要があ る。				継続
寄附件数 令和5年度…12件、令和6年度…8件、令和7年度…1件							
基金設置日……平成31年4月1日 目標額………50,000,000円 寄附金累計額…22,133,331円（令和7年度末現在） 基金残額……… 6,208,100円（令和7年度末現在高）							市報・HPを活用し広 く基金への寄附を募 る。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名